

お母さんになったら

29年度 12月号

Q：言葉がスムーズに出ません。同じ音を繰り返したりするのですが・・・

A：発語には個人差があり、言葉がスムーズに出ずに同じ音を繰り返したり、伸ばしたりします。しゃべり方がたどたどしかったり、考えを早く話せないときにそれを注意したり、先回りして助言したりすると言葉を過度に意識する結果、どもることもあります。

思うがままにしゃべらせることが大切です。また、生活全般にわたって親自身が子育ての様子をよく見なおしてゆったりした態度で子どもの言うことに耳を傾けるようにしてあげましょう。

吃音・・・吃音は言語リズムの障害であり、ことばの始めを繰り返す、最初の音が出にくい、そしてある音を引き伸ばすなどの症状がみられます。3歳から4歳くらいになっておこる吃音は言葉の発達途上の過渡期の不安定な状態として起こるもので、生理的な吃音ともいわれます。そのままにしてあまり神経質にならない方がよく自然に治ることが多いものです。

早口・・・話したいことがあるということはとても素敵なことです。あれもこれもみんな話したい、話を聞いて聞いて・・・と話すことに精一杯な感じを受けます。その子の目を受け止めながらゆったりと落ち着いて静かに終わりまで話を聞いてあげることが大事だと思います。

